

平成28年度 武雄市立山内西小学校 学校評価計画

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標
やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい 輝く 山内西の子	① 基礎基本の確実な定着と思考力・表現力・活用力の向上 ② 周りの人を大切にする気持ちの育成

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む



3 目標・評価				
①基礎基本の確実な定着と思考力・表現力・活用力の向上				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	● 学力の向上	基本的な学習習慣・態度の定着 基礎基本の定着と思考力・表現力・活用力の向上	・家庭と連携し、学習習慣の充実を図る。 ・単元テストでは8割以上の正答率を目指す。 ・全国、県学習状況調査で4教科県平均以上を目指す。	・「学びのすすめ」「西っ子よい子のくらし」を活用する。 ・「学力向上たより」を月1回発行し、学校の取組みを報告する。 ・保護者に学校の取組みを理解してもらい、協力を求める。 ・「家庭学習のてびき」を配布し、学習環境を整えるよう保護者に協力を求める。
	● 教育の質の向上に向けたICT利活用教育の実施	ICT機器の効果的な活用	・ICT機器の積極的活用により、「授業が分かる」児童90%以上を目指す。	・朝の「Shu-Chu-Trainタイム」を計画的に実施する。 ・校内研でICT機器を使った授業を行い、効果を検証する。 ・活用方法のミニ研修会を開くなど、OJTを推進する。 ・スマイル学習の実施率を上げ、効果的に活用する。
	○ 読書活動の推進	家読の習慣づけの推進	・毎月ノーテレビ・ノーゲームデーの家読を90パーセントを目指す。	・多読者表彰をするなどして読書を奨励する。 ・年間目標冊数を設定し、目標を達成するよう意欲をもたせる。 ・図書館便りで学校での取り組みを紹介し、保護者に关心をもってもらう。 ・ノーテレビ・ノーゲームデーの家庭での取り組みを紹介する。 ・8時から朝読書ができるよう放送委員会が啓発活動を行う。
②周りの人を大切にする気持ちの育成				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	● 心の教育	支援が必要な児童への対応 気持ちのよいあいさつと返事・言葉遣い	・児童一人一人が落ち着いて生活できるようにする。 ・生活ふり返り週間での自己評価を90%以上にする。	・職員連絡会で気になる児童についての情報の共有をする。 ・コーディネーターは日常的に担任等と支援方法を話し合う。 ・情報の共有からケース会議等への支援体制につなげる。 ・事例によってはSC、関係機関への連絡につなげる。 ・要支援児童に配慮した学習指導方法について研修する。
	○ 立腰教育の推進	立腰の時間の徹底・継続	・集会や掃除の前の1分間の立腰を、全員がきちんとできる。	・掃除の前にきちんとできている児童を褒めて意識を高める。 ・「生活ふりかえり週間」に自己評価をさせ、出来たことを褒める。 ・掃除の自己評価は後始末まで含めて評価をさせる。 ・「生活ふりかえり」を3か月おきくらいに集計し、全体の様子を把握して指導する。
	● いじめ問題への対応	いじめを許さない環境の構築	・「いじめゼロ、優しさ100」を目指す。	・アンケートを各学期に1回実施し、状況の把握に努める。 ・いじめ防止対策委員会で情報を共有し指導の徹底を図る。 ・「ふれあい道徳」への保護者の参観を呼びかける。 ・「校内人権週間」を設け、全クラスで授業実践をする。 ・人権意識の育成を目指し、集会や学習の機会を設定する。 ・道徳の資料や教材を整備し、道徳指導の環境を整える。
本年度の重点目標に含まれない評価項目・共通評価項目				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○開かれた学校づくり	学校教育活動の情報公開	・積極的な情報発信を心がけ、ホームページの掲載記事を毎週更新する。	・ホームページ管理権限者を増やし、チームで更新する。 ・ICT支援員の協力を得て、更新の機会を増やす。 ・職員はHPの更新を意識し各種行事などの様子を記録する。
		保護者・地域との連携	・授業参観やPTA総会等の出席率を向上させる。 ・前年度実績以上の地域人材活用を推進する。	・日曜日に総会を開催するなど、参加しやすい環境を工夫する。 ・PTAと協力してPTAの目標である「参加型PTA」を推進する。 ・保護者も参加できる授業や学校行事を計画する。 ・クラブ活動、やる気タイム等で地域人材の活用する。 ・学習ボランティア活用の「勉強がんばろう月間」を3回実施する。 ・家庭科の授業では、家庭科ボランティアに協力をしてもらう。
教育活動	● 健康・体づくり	健康な体づくり	・完全自力登校率90%以上を目指す。	・入学式やPTA総会等で保護者に自力登校を呼びかけ、協力してもらう。 ・集団登校を継続して行い、近所の児童が声を掛け合って登校するようにする。 ・地区児童会で集団登校や自力登校について指導する。
		衛生的な生活の意識の向上	・衛生面の意識を高め、清潔検査90%以上の達成率を目指す。	・清潔検査を毎週月曜日に行い、衛生的な生活を意識させる。 ・保健委員会が清潔検査の結果を全校に知らせ、意識を高める。 ・学級においても、掃除後の手洗いを呼びかけ習慣化を図る。

●は共通評価項目、○は独自評価項目